

政務活動費支出伝票

年度	2025	整理番号		
項目	1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費 9. 人件費 10. 事務所費			
会派名	清志会	議員氏名	清志会	
支出内容 (使途)	大樹町池守農園・SPASCECOTAN株式会社・第20回全国市議会議長会視察研修旅費・宿泊費			
支出金額	437,680円	算出根基	支出額	437,680円
			按分比率	100% ・ 50% ・ 25%
備考	(飛行機代292,500円JR代43230円＋宿泊費49,450円 ＋レンタカー代52,500)=437,680円			
領収証添付 追加分は別紙				

領 収 書		:02-100333-000	
2025年09月01日			
清志会 御中			
金額	¥437,680.-	消費税10%	¥437,680
		税	¥39,790
上記金額正に領収いたしました。		☒ 現金 ☐ 小切手 ☐ 振込 ☐ その他 ()	
但し、旅行費用として			
	責任者印 	取扱者印 	登録番号：T7250001005529 観光庁長官登録旅行業第1599号  サンデン旅行 山口宇部支店 山口県宇部市中央町2-4-14
※金額を訂正したもの、責任者印、取扱者印なきものは無効とします。			

No. 013938

視察(研修)経費 内訳書

視察(研修)期間		2025年 8月 24日 ~2025年 8月28日 5日間					
会派名		清志会		議員氏名		河崎 運	
				議員氏名		笠井 泰孝	
				議員氏名		猶 克実	
				議員氏名		眞宅 宣昭	
				議員氏名		林 豊廣	
日付	視察(研修)場所			視察(研修)内容			
8月24日	帯広市池守農場			宇宙技術(GPS)活用スマート農業			
8月25日	大樹町・SPACE COTAN株式会社			「宇宙のまちづくり」について			
8月26日	移動日 大樹町→帯広市→札幌市						
8/27.28	札幌市「札幌文化劇場hitaru」			全国市議会議長会研究フォーラム			
視察(研修)行程表							
日付	出発地	交通手段	到着地		支出金額		
8月24日	宇部空港	飛行機	羽田空港→帯広空港		157,700円		31,540円×5名
8月28日	千歳空港	飛行機	羽田空港→宇部空港		134,800円		26,960円×5名
8月26日	帯広駅	JR	札幌駅		16,240円		8,120円×笠井・眞宅
8月26日	帯広駅	JR	札幌駅		6,490円		河崎 ジパング割引
8月26日	帯広駅	JR	札幌駅		5,670円		林 ジパング割引
8月26日	帯広駅	JR	札幌駅		5,530円		猶 障害者割引
8月28日	札幌駅	JR	新千歳空港駅		6,210円		2070円×3名笠井・眞宅・猶
8月28日	札幌駅	JR	新千歳空港駅		1,650円		河崎 ジパング割引
8月28日	札幌駅	JR	新千歳空港駅		1,440円		林 ジパング割引
8/24.25.26	帯広市⇄大樹町⇄帯広市	レンタカー			52,500円		WAクラス3日間
宿泊先	一泊目	朝食	有・無	区分	北海道	宿泊費実費	宿泊手当
		夕食	有・無	宿泊費基準額	18,000	49,450円 (9,890円×5名)	
	二泊目	朝食	有・無	区分		宿泊費実費	宿泊手当
		夕食	有・無	宿泊費基準額			

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。

備考	
----	--

視察(研修)報告書

視察(研修)日時	2025年8月24日
視察(研修)先	8/24日北海道帯広市大樹町池守農場
参加議員氏名	河崎運・笠井泰孝・猶克実・眞宅宣昭・林豊廣
視察(研修)項目	1.宇宙技術活用による大規模農業経営について
視察(研修)概要	◇池守農場視察:GPS技術活用によるスマート農業経営 自走農機具による耕作と施肥及び収穫の省力化と経済効果
所感 (意見・課題・本市 への反映など)	1.北海道の農業は国内の他地域に比べると、広い農地を少人数で管理しているという特徴があります。最近では農家戸数や担い手が減少しており、農家の経営規模拡大や生産コスト低減省力化は課題です。距離が長い広い農地で効果を発揮する。
主な質疑	【問】経済効果と省力化 【答】GPSや衛星情報を活用して、広い農地を「どこで・どれくらい・何をするか」施肥経費と燃料費削減等 トラクターなどの農機にGPSを載せて自動運転や作業記録施肥量の自動調整などを行う。



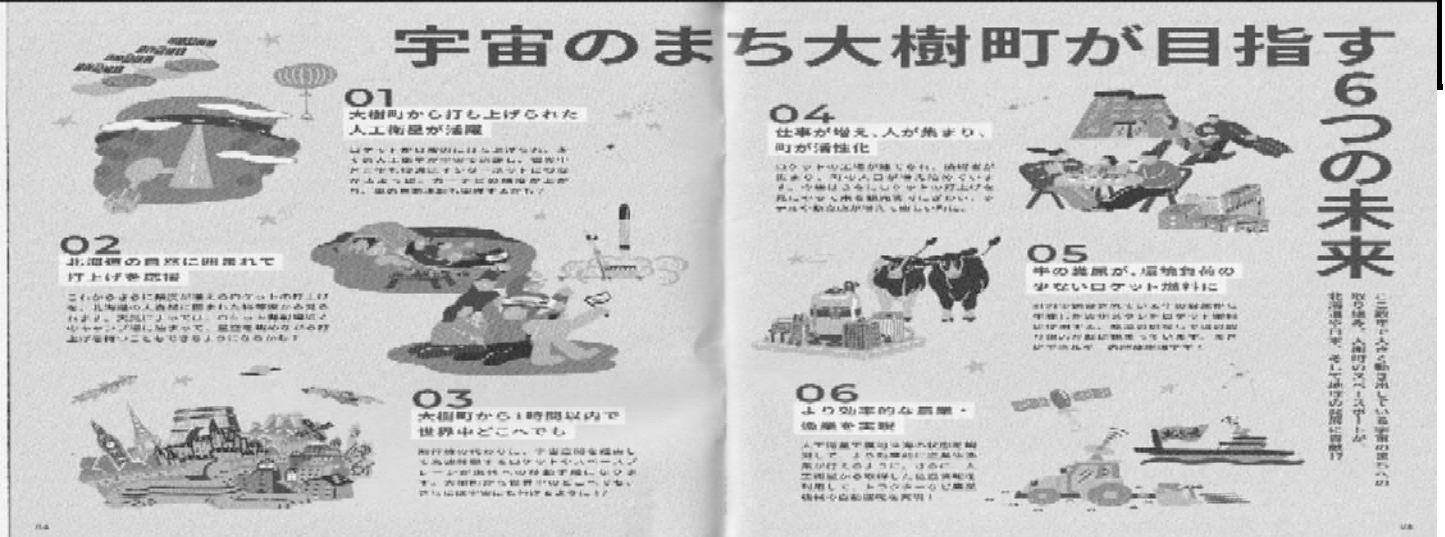
視察(研修)報告書

視察(研修)日時	2025年8月25日
視察(研修)先	8/25大樹町・SPASCE COTAN株式会社
参加議員氏名	河崎運・笠井泰孝・猶克実・眞宅宣昭・林豊廣
視察(研修)項目	
視察(研修)概要	◇宇宙関連企業誘致への行政の取組と宇宙企業施設「株式会社SPASCE COTAN」視察
所感 (意見・課題・本市への反映など)	大樹町は東と南に海が広がりロケットの打ち上げに適している場所である。飛行機や船の往来が少ない。高い晴天率ね広い土地があるなどの好条件が揃っている。 宇部市では、ロケットを打ち上げるよりも衛星データの利活用をした方が望ましい。スタートアップ企業環境として、既存の産業基盤や研究資源を活した「うべ産業共創イノベーションセンター志UBESTARTUP」がある。

【問】まちの活性化

【答】ロケット工場が建てられ技術者が集まりつつある。

主な質疑



大樹町行政視察

視察(研修)報告書

視察(研修)日時	2025年 8月 27日 ~ 2025年 8月 28日 2日間
視察(研修)先	北海道札幌市
参加議員氏名	・河崎運・笠井泰孝・猶克実・眞宅宣昭・林豊廣
視察(研修)項目	第20回全国市議会議長会研究フォーラム
視察(研修)概要	全国市議会議長会副会長 宇部市議会議長山下節子「多様な人材の参画促進の観点から地方 議会議員のなり手不足問題を考える」基調講演広聴

第20回

全国市議会議長会 研究フォーラム



地方議会議員なりて不足問題の解決

議員の処遇改善、報酬の見直し・年金加入は必要と感じた。

◇報酬の見直しについて＝定数削減ではない。

報酬と定数は切り離して論議すべきである。

・現役世代が議員になれるよう「職業」として見合った報酬額

・本業として議員活動に専念し、市政の様々な課題にじっくり向き合える環境を整備する。

◇年金加入について＝議員活動の環境整備

・厚生年金への地方議会議員の加入を求める。政府への要請

開催日 令和7年8月27日(水)・28日(木)

場 所 札幌文化芸術劇場hitaru

〔中継会場〕札幌ハイクホテル

視察(研修)報告書

視察(研修)日時	令和7年 10月 9日 ~ 令和7年 10月 10日 2日間
視察(研修)先	栃木県宇都宮市「ライトキューブ宇都宮」
参加議員氏名	笠井泰孝・西村亨平・林豊廣
視察(研修)項目	塾生社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり
視察(研修)概要	基調講演:人口減少・成熟社会のデザイン 京都大学名誉教授 広井良典 主報告:人口減少社会に対応する都市の構造改革 栃木県宇都宮市長 佐藤 栄一 一般報告:「縮充」発想による公共施設マネジメント南学都市 縮小時代の持続可能なまちづくり 香川県高松市長 大西 秀人 一般報告:次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり 早稲田大学理工学術院教授 森本 章倫
所感 (意見・課題・本市 への反映など)	進学や就職を機に一度地元を離れた若者が、数年後にUターンして地域へ戻り、新規創業に取り組んでいる。これらの事業者同士の横のつながりが生まれることで、中心市街地では新たなにぎわいが創出され、空き家・空き店舗の活用が市民の自発的な動きとして進みつつある。こうした市民主体のまちづくり活動からは、既存の取り組みを基盤として新たなプロジェクトが派生し始めている。まさにそのタイミングで行政との協議が始まり、中心市街地再生に向けた具体的な取り組みへとつながっている。
主な質疑	【問】なし 【答】

※ 視察(研修)内容が確認できる資料(パンフレット等)を添付すること



政務活動費支出伝票

年度	2025	整理番号	2
項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費 9. 人件費 10. 事務所費		
会派名	清志会	議員氏名	
支出内容 (使途)	三次市視察(レンタカー代)		
支出金額	42,293	算出根基	支出額 42,293 按分比率 100%・50%・25%
備考			

領収証添付

NISSAN		領収証		No. 0195282								
				令和 8 年 1 月 10 日								
清志会 様												
金額	¥ 42,293											
レンタカー代として 上記のとおり領収いたしました。												
内 訳	整 備 料											
	自 賠 責 保 険 料											
	自 動 車 重 量 税											
	車 検 代 行 手 数 料											
	印 紙 代											
消 費 税												
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">領 収 金 内 訳</th> </tr> <tr> <td>現金・小切手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手 形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>42,293</td> </tr> </table>					領 収 金 内 訳		現金・小切手		手 形		そ の 他	42,293
領 収 金 内 訳												
現金・小切手												
手 形												
そ の 他	42,293											
伝票番号 領収書No 193724 入金番号												
毎度御引立を賜り厚く御礼申し上げます。												
日産プリンス山口販売株式会社 宇部空港店 0836-33-2300												
収入印紙												
取扱責任者												
© 金額の訂正、取扱責任者印のないものは無効といたします												

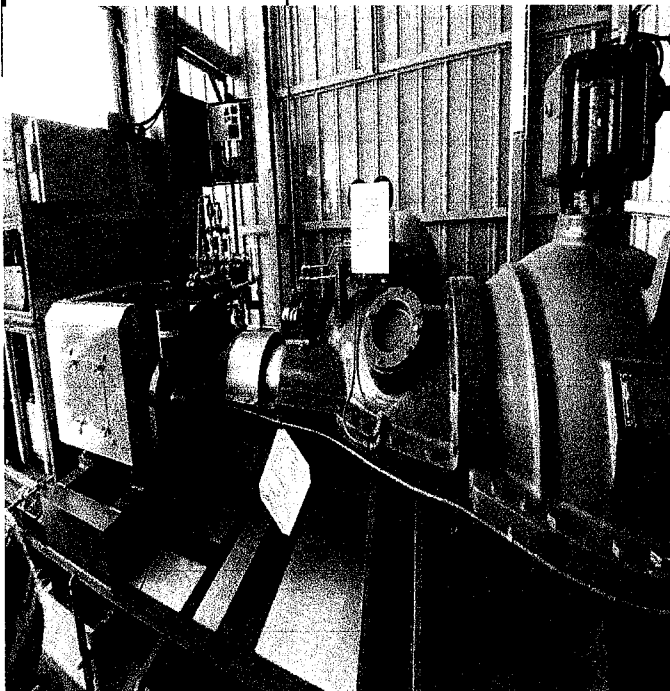
視察(研修)経費 内訳書

視察(研修)期間		2026年 1月 7日		1日間			
会派名		清志会		議員氏名 河崎運			
		議員氏名		笠井泰孝			
		議員氏名		猶克実			
		議員氏名		眞宅宣昭			
		議員氏名		林豊廣			
日付	視察(研修)場所		視察(研修)内容				
1月7日	広島県三次市江の川排水ポンプ場		マストダ外型排水ポンプ設備及び構造				
視察(研修)行程表							
日付	出発地	交通手段	到着地	支出金額			
1月6日	宇部市	レンタカー	広島県三次市	42,293円	清志会支払い		
1月6日	山口南	高速料金	三次IC	2,320円	猶議員支払い		
1月7日	三次IC	高速料金	山口南	2,320円	猶議員支払い		
1月7日	ホテルトインミョン駐車場代			150円	猶議員ホテル代に含む		
宿泊先	一泊目	朝食	有・無	区分	広島県	宿泊費実費	宿泊手当
		夕食	有・無	宿泊費基準額		45,500円(9100円×5名)+150円駐車場代	
	二泊目	朝食	有・無	区分		宿泊費実費	
		夕食	有・無	宿泊費基準額			

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。

視察(研修)報告書

視察(研修)日時	2026年 1月 6日 ～ 2026年 1月 7日 2日間
視察(研修)先	広島県三次市
参加議員氏名	・河崎運・笠井泰孝・猶克実・眞宅宣昭・林豊廣
視察(研修)項目	国土交通省開発した「マスプロダクト型排水ポンプ」について
視察(研修)概要	従来は大型船舶のエンジンをベースに現場合わせで制作するため、高額である。又、故障時は修理が専門職への特注になり人的な対応に遅れが生じている。修理部品が特殊品のため納期に遅れが生じる。国土交通省では量産品のエンジンを採用することで、経済性・操作性・維持管理性に優れた「マスプロダクト型排水ポンプ設備」の開発を進めた。それは自動車エンジンを使うことにより制作費用が従来の1/10に削減できる。又、故障時の修理は自動車整備士で対応でき速やかに対応できる。修理が自動車部品で対応できる。その実証を三次市の江の川で行っている。
所感 (意見・課題・本市への反映など)	本市が抱える大きな問題は、豪雨時の内水面の浸水被害である。厚東川の支流の大坪川も毎年豪雨により厚東駅周辺や藤曲周辺が浸水し、国道2号線も通行止めになる。しかし、従来の排水ポンプ設置費用が高額のため設置出来てない。一方マスプロダクト型排水ポンプは低コストである。該当ポンプは三菱自動車デリカ2.2Lのディーゼルエンジンを使用して排水量は毎秒1tで高性能である。該当する土木工事を含めて約3億円と安価であることより本市への採用を要望する。
主な質疑	【問】ポンプは起動停止は 【答】水位計により全自動 手動による起動停止可 【問】電力環境は 【答】通常は支柱電気に対応、停電時は自前の発電機に対応 【問】ポンプの予備は 【答】常に予備ポンプをもち二台体制、



視察(研修)報告書

視察(研修)日時	2026 年 2月 5日 ～ 2026年 2月 6日 2日間
視察(研修)先	香川県三豊市・愛媛県四国中央市
参加議員氏名	河崎 運・笠井 泰孝・猶 克実・眞宅 宣昭・林 豊廣
視察(研修)項目	1.人口減少とリサイクル率向上によるごみ処理の効率化 2.トンネルコンポスト方式について
視察(研修)概要	1.2月5日三豊市株式会社エコマスターみとよ「バイオマス資源化センターみとよ」工場視察研修資源化の経済効果と脱炭素効果・ごみの燃料資源化実証現場視察B/Cと燃料したごみの継続的な引き取り先確保。 2.2月6日四国中央市行政視察「トンネルコンポスト方式採用への道筋と脱炭素」ごみ処理の広域化から四国中央市が単独でトンネルコンポスト方式に舵を切ったか道筋。B/Cと燃料したごみの継続的な引き取り先確保。
所感 (意見・課題・本市への反映など)	2050年までに広域化を推進している、宇部市は人口減少と高齢化更にリサイクル率向上による焼却によるごみ処理の中長期的課題である。ごみの最終処分場の残余年数は右片下がりである。ごみの量が減少すれば、現在150t処理炉を三基を有した処理施設の効率の悪い状態、燃焼効率の低下が予測される。ごみが増える構想でのごみ処理施設の維持は難しい。ごみを燃料資源化することで持続可能な処理施設の運営が可能更に脱炭素に大きく寄与できる。
主な質疑	【問】施設に有する敷地面積は 【答】1万トンに対し1万立方メートル 【問】燃料資源化された燃量は 【答】石炭と同じ 【問】燃料資源化した継続的な売却先は 【答】紙工場で消費可能 【問】悪臭対策は 【答】好気バクテリアによる脱臭により無臭



施設内は無臭で清

無臭燃料化されたご